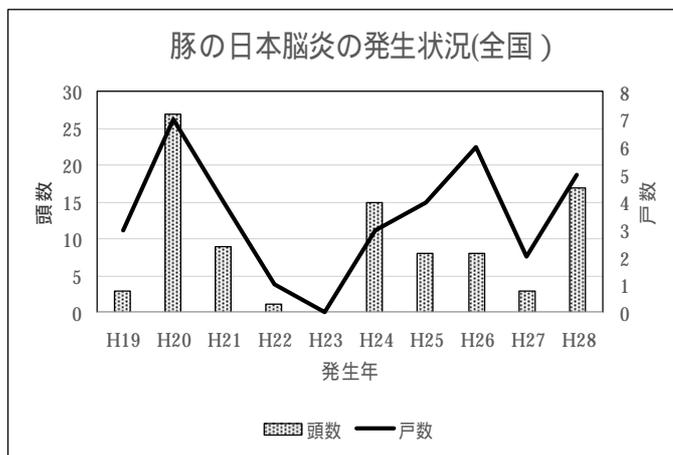


豚の日本脳炎の発生を予防しましょう！

豚の日本脳炎（流行性脳炎）のワクチンを接種する時期になりました。繁殖豚を飼養している農場では、ワクチン接種は済んでいますか？右に国内の日本脳炎の発生状況を示しましたが、多くが、ワクチン接種をしていない農場での発生です。発生予防が重要な疾病であるため、まだワクチンを接種していない農場は早めに対策を開始しましょう。



今回は、国立感染症研究所が毎年実施している感染症流行予測調査である「日本脳炎ウイルスのまん延状況及び活動状況」を紹介します。

感染症流行予測調査事業（厚生労働省所管）

毎年7月～10月、日本脳炎ウイルスを媒介する蚊が出現する時期に、全国各地のと畜場に出荷された肥育豚の血清で、日本脳炎ウイルスに対する抗体を調べ、日本脳炎ウイルスのまん延状況及び活動状況が報告されています。

調査結果の速報は、国立感染症研究所のホームページに公開され、ヒトへの日本脳炎ウイルスの感染に対する注意喚起がなされています。

本事業はヒトへの流行を未然に防止するための調査ですが、シーズン中の調査結果がホームページ上に週ごとに公表される(裏面参照)ため、日頃の家畜防疫に活用することができます。ぜひ参考にして下さい。

検索 『国立感染症研究所 感染症流行予測調査』

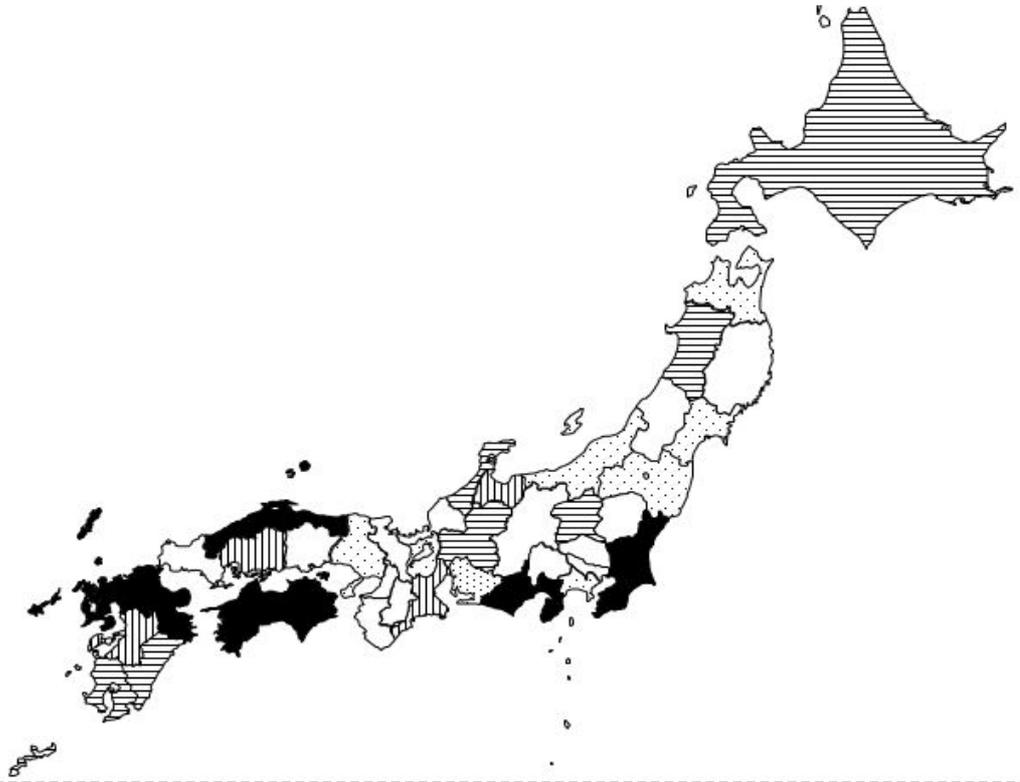
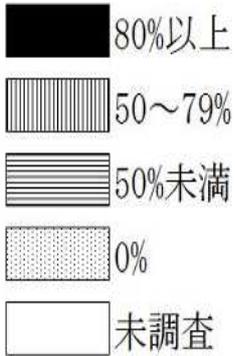
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/yosoku-index.html>

裏面に参考までに昨年（10月まで）の調査成績を示しました。

豚の日本脳炎抗体保有状況

豚の日本脳炎ウイルスHI抗体保有状況:2016年

抗体保有状況



豚の日本脳炎抗体保有状況(2016年) 関東甲信越+静岡県のみ

	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
茨城県		0%	0%			20%	0%	20%	80%			
栃木県												
群馬県		0%	13%			0%	0%	0%	0%			
埼玉県												
千葉県						100%	25%	90%	50%			
東京都												
神奈川県	0%	0%	0%	0%			0%	0%	0%			
新潟県	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	0%			
山梨県												
長野県												
静岡県		0%	30%	70%		60%	70%	100%	100%			

国立感染症研究所ホームページ

豚の日本脳炎抗体保有状況(2016年)より抜粋

神奈川県県央家畜保健衛生所

本所 〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124

東部出張所 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076

電話：(045)934-2378 ファクシミリ：(045)934-5432

